



源氏
河之
後取



訂
煇
三



五
曜
文
庫

上
一

真名序

如風房

作麼ワモ傲サレハ譎ニ尔ニ無メ古ニ今ニ而有リ不レ易ク有リ流リ行ク
與サレハ所ニ左ニ在リ了レ則レ有ル師ニ室ニ尔ニ三ニ節ニ之ニ集レ僅ニ
者アツメノセテ纂ニ載ニ發ニ勺ニ附レ合レ詩ニ文ニ章ニ之ニ有ル限ニ而レ年ニ
去リ兮ニ時ニ過キ兮ニ顧レ之レ而レ可レ知ル其ニ年ニ其ニ時ニ之ニ
流リ行リ了レ則レ無シ古ニ今ニ與ト有リ不レ易ク省ル自レ可レ見ル
于ニ其ニ中ニ尔ニ所ニ誠マコヤ哉ニ游アラフ二ニ十ニ年ニ之ニ禁ニ日ニ者ニ

可キ成ク好ク杖ニ之ニ友ニ垣ニ也ニ焉ニ然レ則レ年ニ每ニ尔ニ向テ
春ニ之ニ惠ニ方ニ而レ面ニ白ニ面ニ通ニ敷ニ蒔テ老ニ樂ニ之ニ種ニ
而レ花ニ朝ニ兮ニ月ニ夕ニ兮ニ不レ怠ラ不レ膏ニ折ニ耕ニ耨ニ于ニ
例ニ之ニ談ニ笑ニ而レ待ニ於ニ風ニ雅ニ與ト寂ニ味ニ之ニ實ニ生ニ
矣ニ尔ニ者ニ有ル如シ之ニ者ニ間ニ敷ニ與ト自レ誇テ而レ不レ思ス
麼ニ敲テ瞭ラ而レ斯ニ述ニ者ニ武ニ江ニ可レ遊ニ菴ニ之ニ主ニ

嘉永癸丑正月上元



ふ部下々

亥丑

賦等

ねとてわくそくはのしぬらむ
わくふたのふとさるるまは
いふよむさくさのしぬらむ
あつたのなむあふるし

多佛坊

葩^ハ花^セうへて

ふ部下々

多會

石 自り

あふさるるのふりあふさるる
概係弾論ふはふさるる
あつたのなむあふるし

多佛坊

あつたのなむあふるし

あつたのなむあふるし

多佛坊

あつたのなむあふるし

多佛坊

あつたのなむあふるし

多佛坊

あつたのなむあふるし

多佛坊

あつちのあつちのあつちのあつち

哉芳

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

あつちのあつちのあつちのあつち

あつち

右一略下略

上、田

交
わ
わ

字通店平坊

新

くも

くも

くも

くも

くも

くも

あつ旅舎うふあふえんと
そこの運流と一は好難と也

平坊

廣
博
や
ね
う
の
の
の
の

う
の
の
の
の
の
の
の

う
の
の
の
の
の
の
の

う
の
の
の
の
の
の
の

う
の
の
の
の
の
の
の

う
の
の
の
の
の
の
の

う
の
の
の
の
の
の
の

何れもよのほしき花のさき

全

花は女

あはれいふはなはなはなはな

尾

花

あはれいふはなはなはなはな

花

あはれいふはなはなはなはな

花

あはれいふはなはなはなはな

花

あはれいふはなはなはなはな

花

あはれいふはなはなはなはな

花

あはれいふはなはなはなはな

花

あはれいふはなはなはなはな

全

花

あはれいふはなはなはなはな

花

あはれいふはなはなはなはな

全

花

あはれいふはなはなはなはな

全

花

あはれいふはなはなはなはな

全

花

あはれいふはなはなはなはな

全

花

あはれいふはなはなはなはな

全

花

あはれいふはなはなはなはな

全

花

しうーしうのての髪え
舞子への續物の髪と解あし

全 尾

入物

舞おていふい舞のお情

舞子

舞子へのしうの鏡の髪えすい

二行

双鳥

かとうあそびのしうの髪切

全

芦花

舞子へのしうの髪え舞子

全

親鳥

西の髪えのしうの髪切

全

芦花久

まろる尾の髪えのしうの髪

舞子

ニウ

そんふの髪えのしうの髪

全

白鳥

舞子への髪えのしうの髪

全

舞子

舞子への髪えのしうの髪

全

舞子

舞子への髪えのしうの髪

全

舞子

舞子への髪えのしうの髪

全

舞子

舞子

舞子

舞子への髪えのしうの髪

舞子への髪えのしうの髪

上七

後
小
詩

歴
堂
文
集

目
録

こゝろのたゞしき
こゝろのたゞしき
こゝろのたゞしき
こゝろのたゞしき

こゝろのたゞしき
こゝろのたゞしき

目
録

こゝろ
たゞしき

こゝろのたゞしき
こゝろのたゞしき
こゝろのたゞしき
こゝろのたゞしき

目
録

こゝろ
たゞしき
こゝろのたゞしき

東部
嶺南

可品店柄橋

11 255

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

平陽
張石翁

右函唐書卷

目錄

二〇〇

三〇〇

平陽張石翁

平陽張石翁

平陽張石翁

卷一
卷二

平陽

平陽張石翁

卷三

平陽張石翁

平陽

平陽張石翁

卷四

平陽張石翁

東印

下

精遊庵茶水

人々を以て茶を以て
茶の味を以て茶を以て

茶の味の味

解の解の中

総乳

梅の臣

士 経梅や目丸目受てて又日

衆 折の人の茶を以て茶を以て梅

工 折の梅を以て茶を以て茶を以て

商 根切つて茶を以て茶を以て茶

茶の味を以て茶を以て茶の味

我
今

幻是唐貞觀

之

少玉のの飽

島よ暮る中

和詩

こ又七

そと花あかりおのぼる

ふりや煙草くまそのほし

小野のふり花そよ風のほし

ふり花よふり花よふり花

あつたにんごころや解の音

亥別

上地守

山王下守守仙

山王祝

福をやむ土の目じのふて後

喜 喜

子信喜喜喜

心へ祈りのやむるや喜めぬ

花子のほろり解けぬるを

花子のほろり解けぬるを

かゝるる喜も喜もあふり

あふり月も赤く酔ふや

酔ふ酔ふ酔ふ酔ふ酔ふ

喜 喜

喜 喜 喜 喜 喜 喜 喜 喜

平江
中野

去月館

之朝

路

五ノ...

福子...

...

...

路

月...

...

...

...

路

用...

...

...

七部
八河路

之遊居不況坊

いん

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

いんいん

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

不況居

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

いんいん

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

有静

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

静子

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

静を

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

静心

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

静心

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

静心

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

静心

いんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

西陵

海に身をまかせんぬるのまは

之の

ことしの念のちかひまふ

之の

おはせし暇より福なり野原を

之の

いぢめのおのこはせしめし

之の

ゆきまの庭より月影のつら

一の

ふてそくに牛もるほど

六の

軍も寝るもあつた事

五の

別れを待たぬ母のふり

四の

あつたねよはつたをいふ

以て

あつて居るまゝうら

静の

つら
あつたねよはつたをいふ

一の

あつたねよはつたをいふ

如の

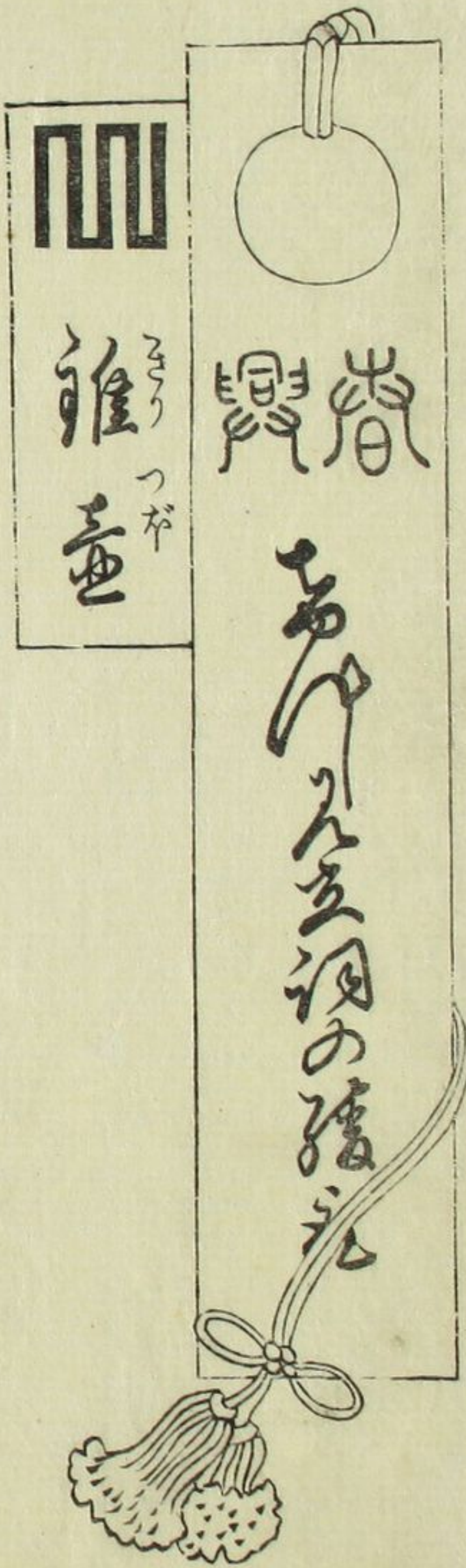
あつたねよはつたをいふ

静の

あつたねよはつたをいふ

静の

あつたねよはつたをいふ



故函名

乃夫双

種子也

~~~~~

~~~~~

~~~~~



墨高画

中二



箒  
掃

箒  
掃

箒  
掃

箒  
掃

箒  
掃

箒  
掃

箒  
掃

箒  
掃

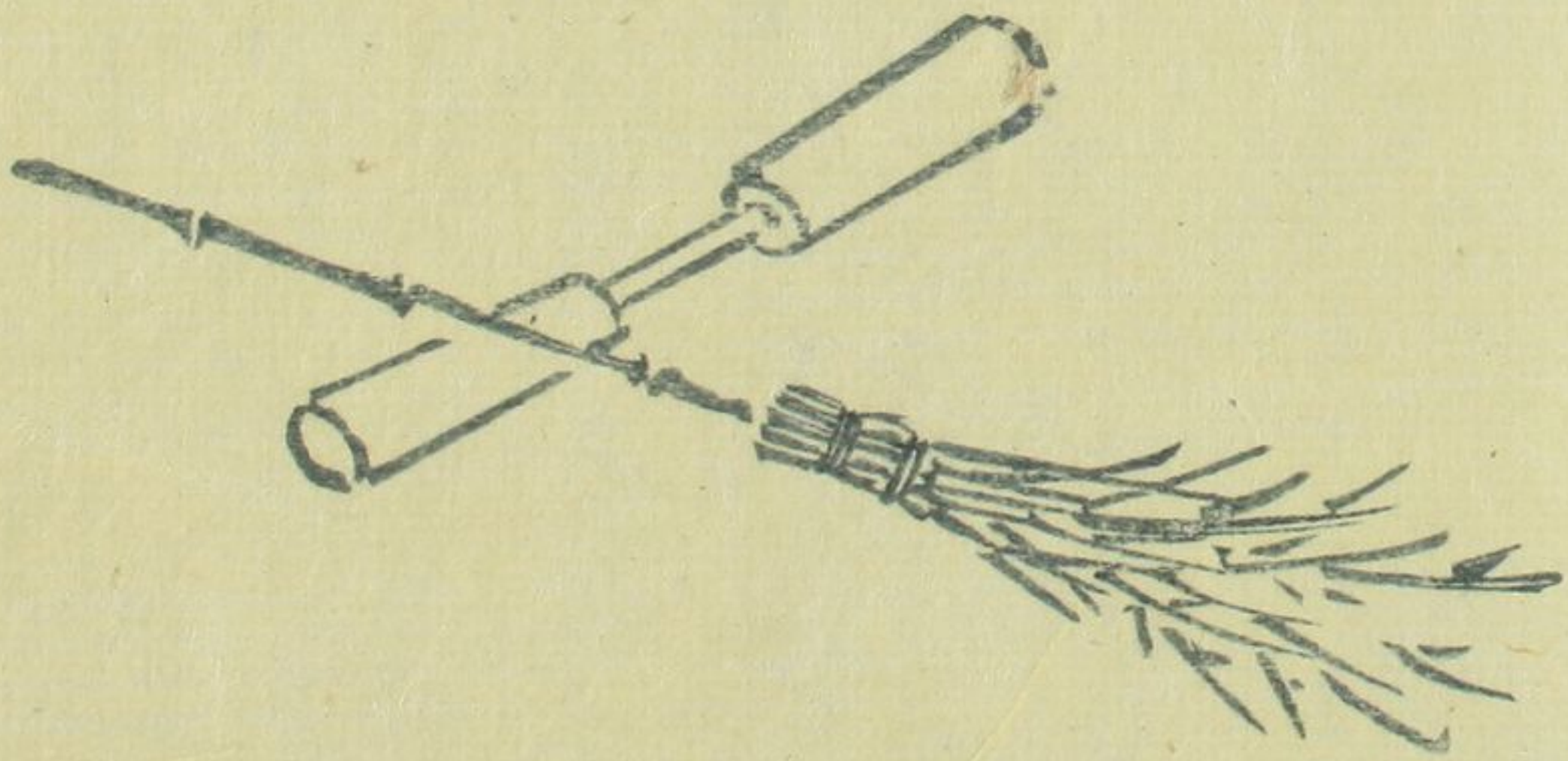
箒  
掃

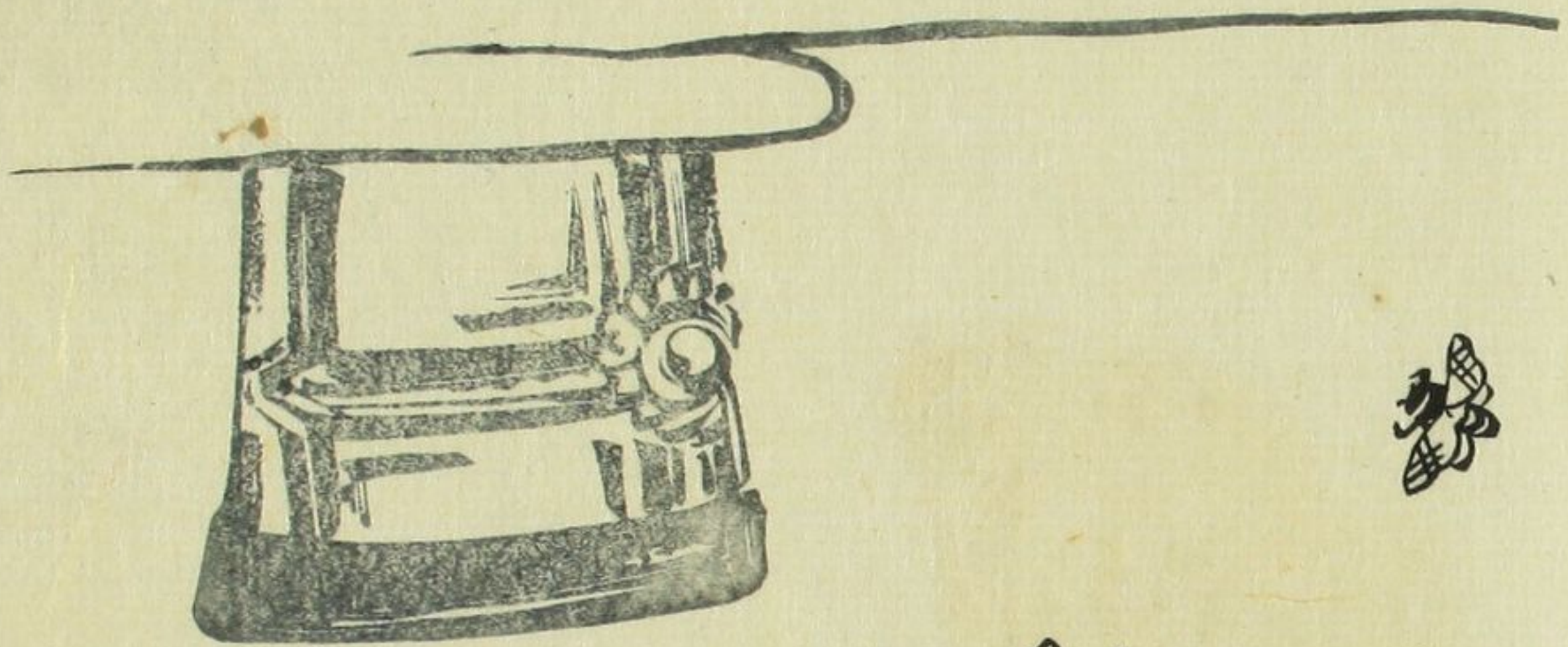
箒  
掃

箒  
掃

箒  
掃

箒  
掃





石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

中四



打撃

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

石色きめ

夕船

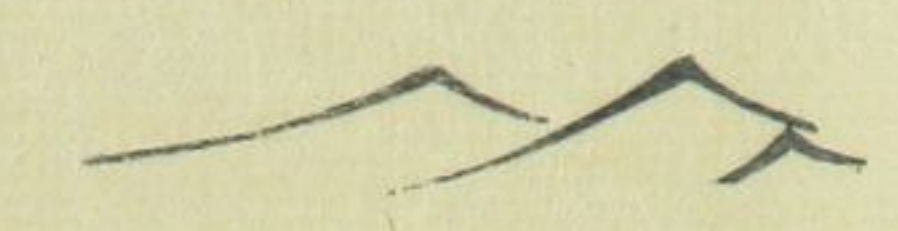


夕船

夕船

夕船

夕船



夕船

夕船



鑄造  
印

柳

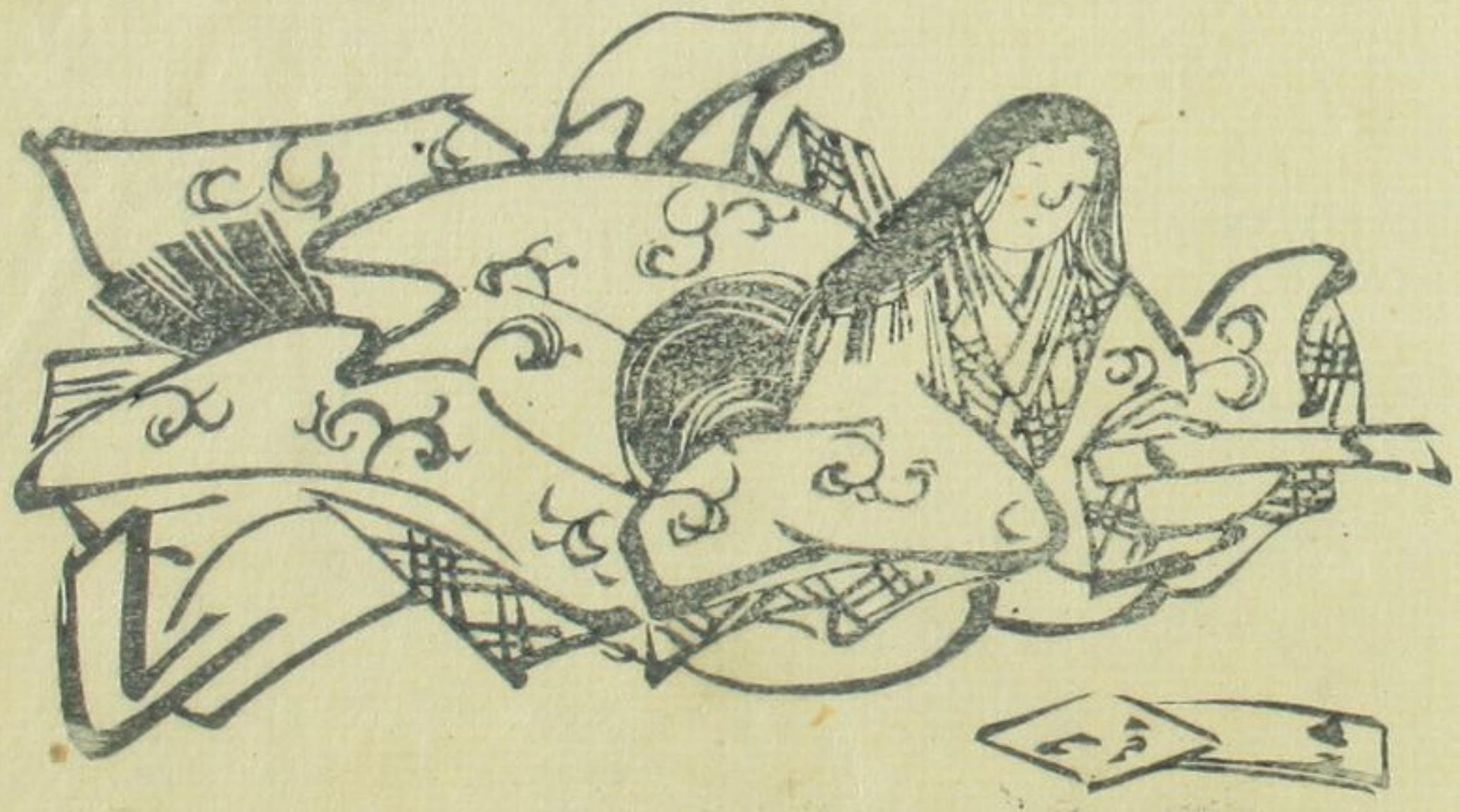
柳

柳

柳

柳

和氣  
印  
和氣




  
 子とるつじな  
 東 續 七

云々

西

云々

云々

云々

云々

云々

云々



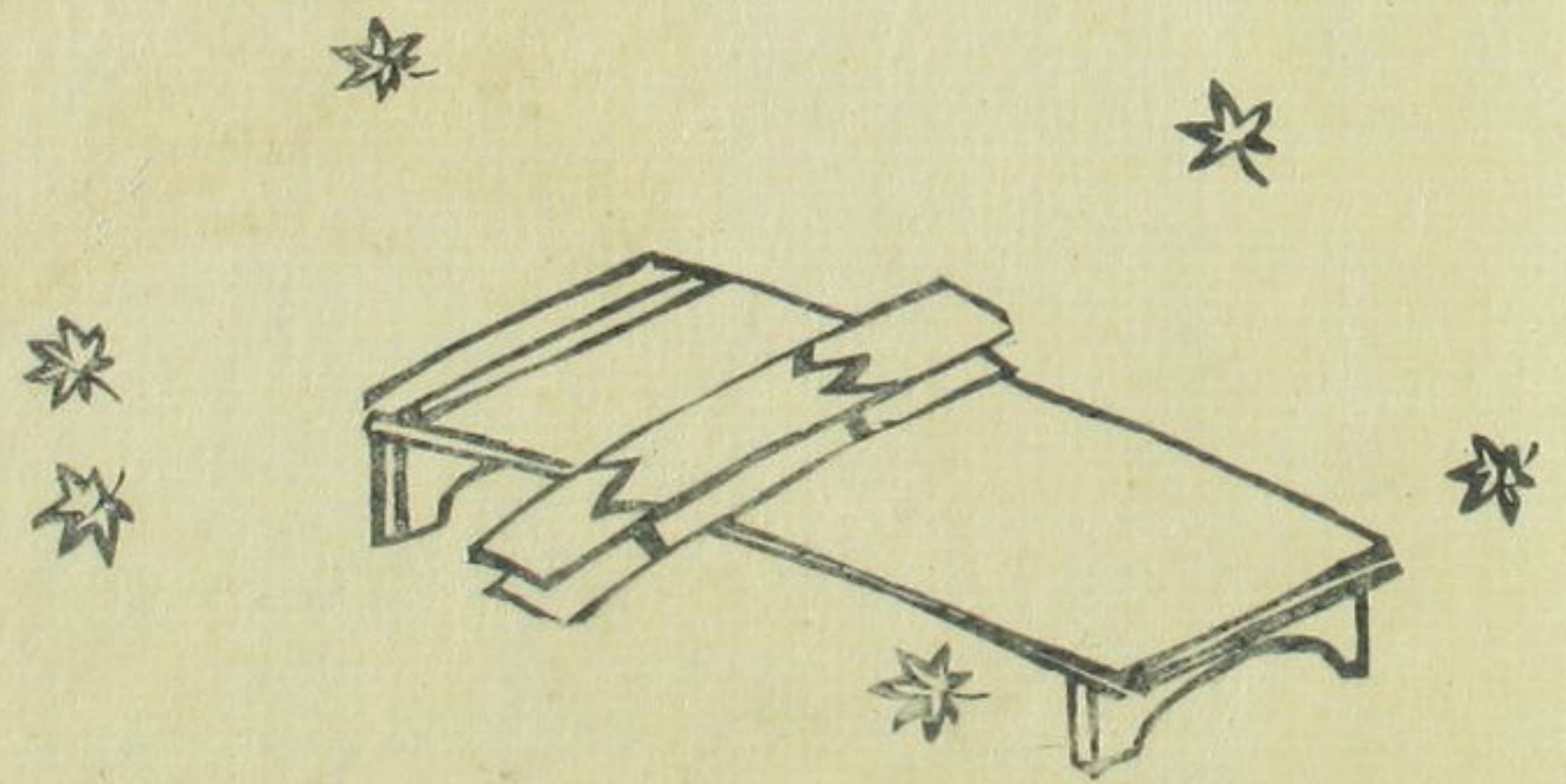
云々

云々

云々


云々

卯  
 子  
 辰  
 巳



卯  
 辰  
 巳

卯  
 辰  
 巳

  
 卯辰巳

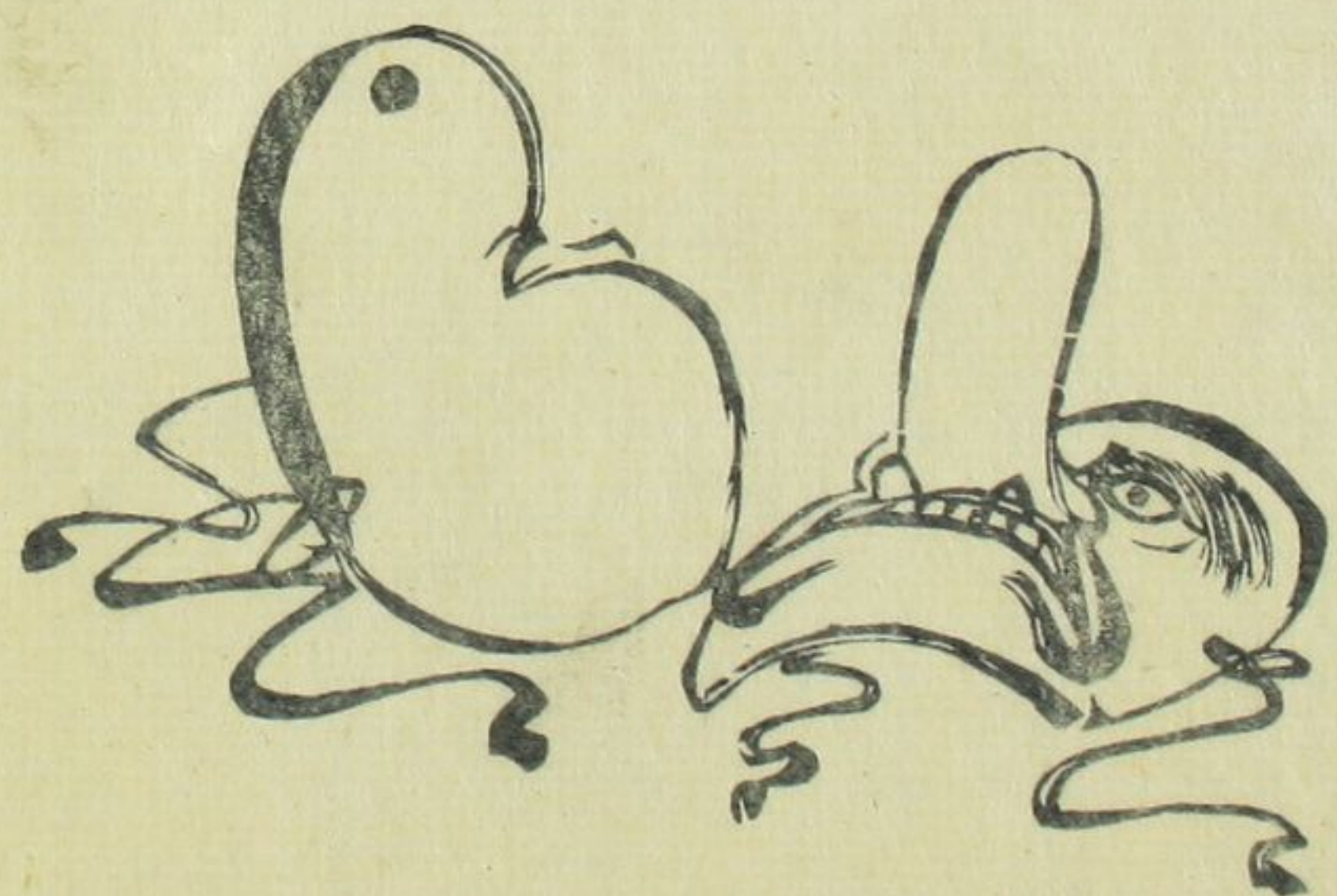






白鳥

鳥



中八

鳥

鳥

鳥

中九

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

あまのこ

あまのこ



あまのこ

あまのこ  
あまのこ  
あまのこ


あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ



  
 砂さ撿らん



雲くも 山やま  
 廣ひろ 山やま  
 馬うま 山やま  
 山やま

木

の

山

山

高野山

山

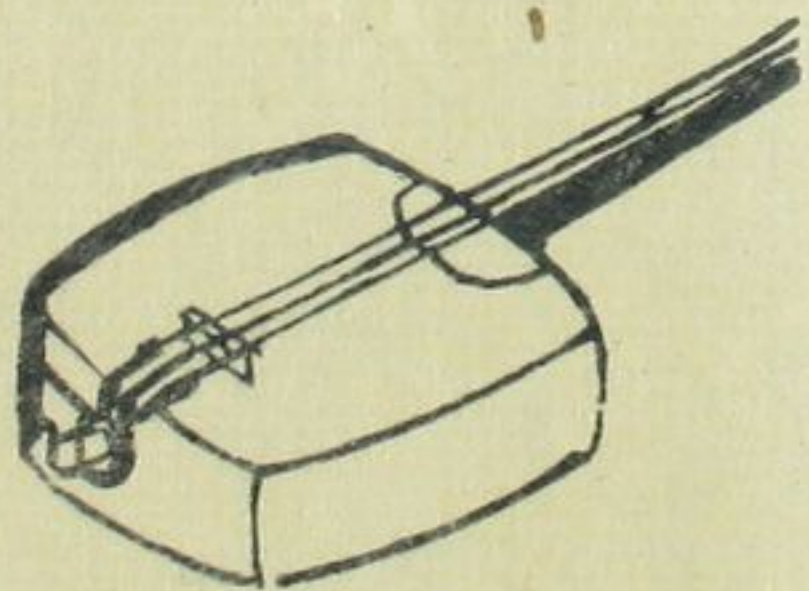
山



文利長正河本  
 石塚信房  
 石

~~~~~

~~~~~



~~~~~

~~~~~

~~~~~

吟
 通
 庵
 石
 塚

雨
海
間

雨
海
間
雨
海
間
雨
海
間
雨
海
間



雨
海
間
雨
海
間
雨
海
間
雨
海
間



孩列小竹

字心

同子心

心

心



心

心

心

心

心



三
 葉
 子
 子
 子

強列中條

女
 子

子
 日
 德
 文
 梅

子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子



子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子



尻川の

又

解

福
目



と
一

中ノ十五



巧

小

山

山


山

撥
子
音

子



中ノ十六


 蘭 せきや 夫

とん長ふ

竹葉

ふのふ

ふのふ

ふのふ



ふのふ

ふのふ

ふのふ

ふのふ

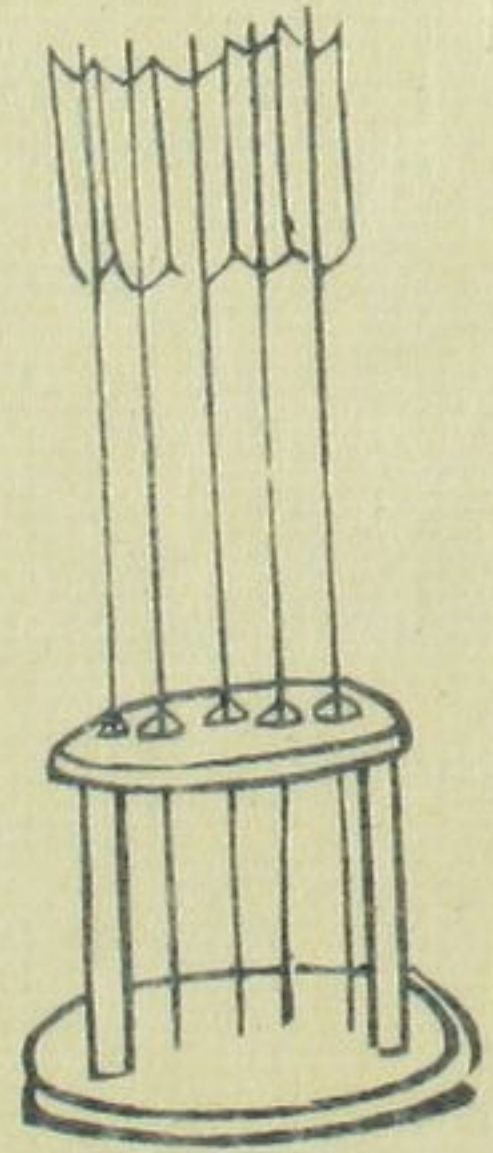
ふのふ

ふのふ

ふのふ

ふのふ

ふのふ



而
鉶
合

三弦も志

一揚

初鯉子の

鳴るるるる

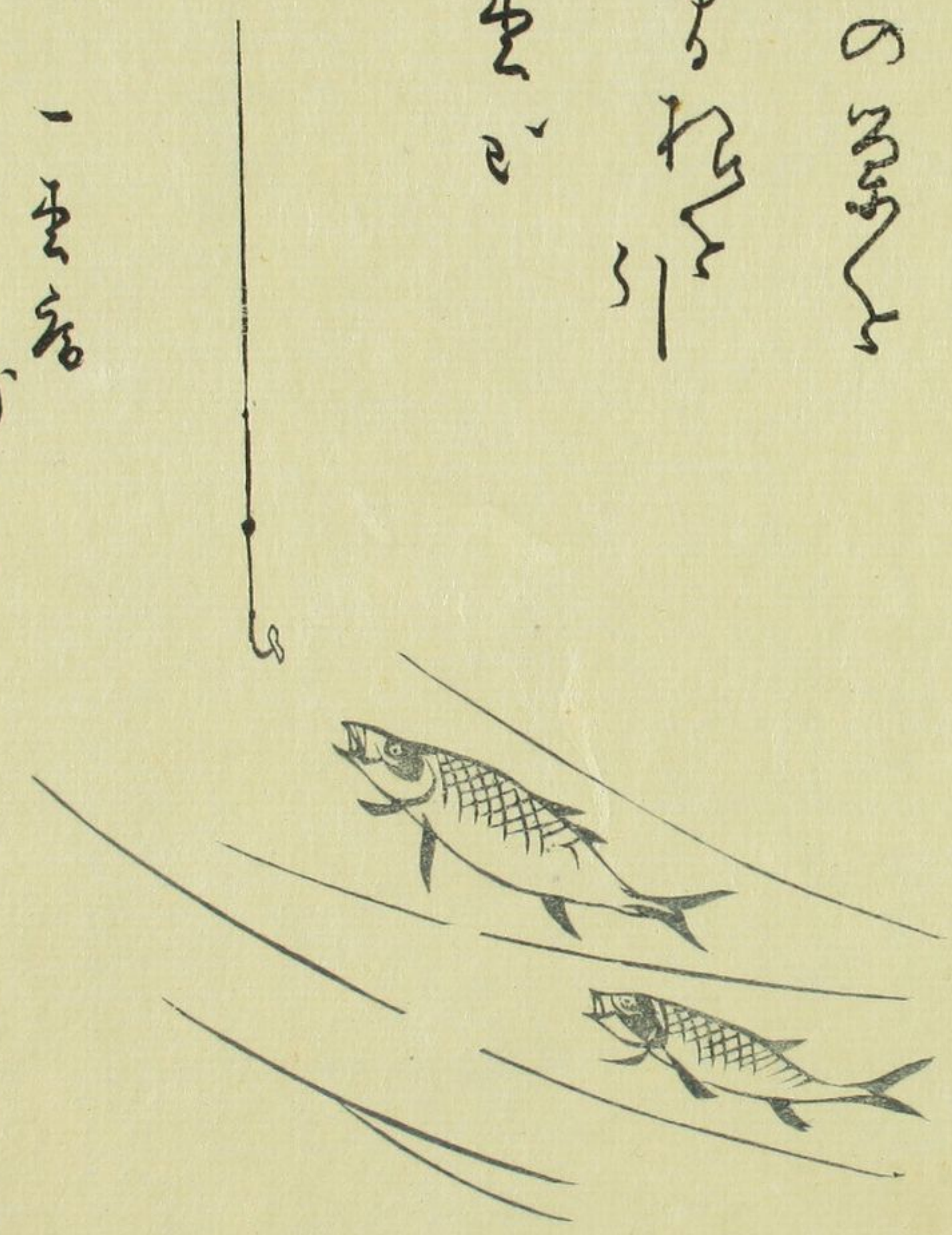
坂の音



鯉の音

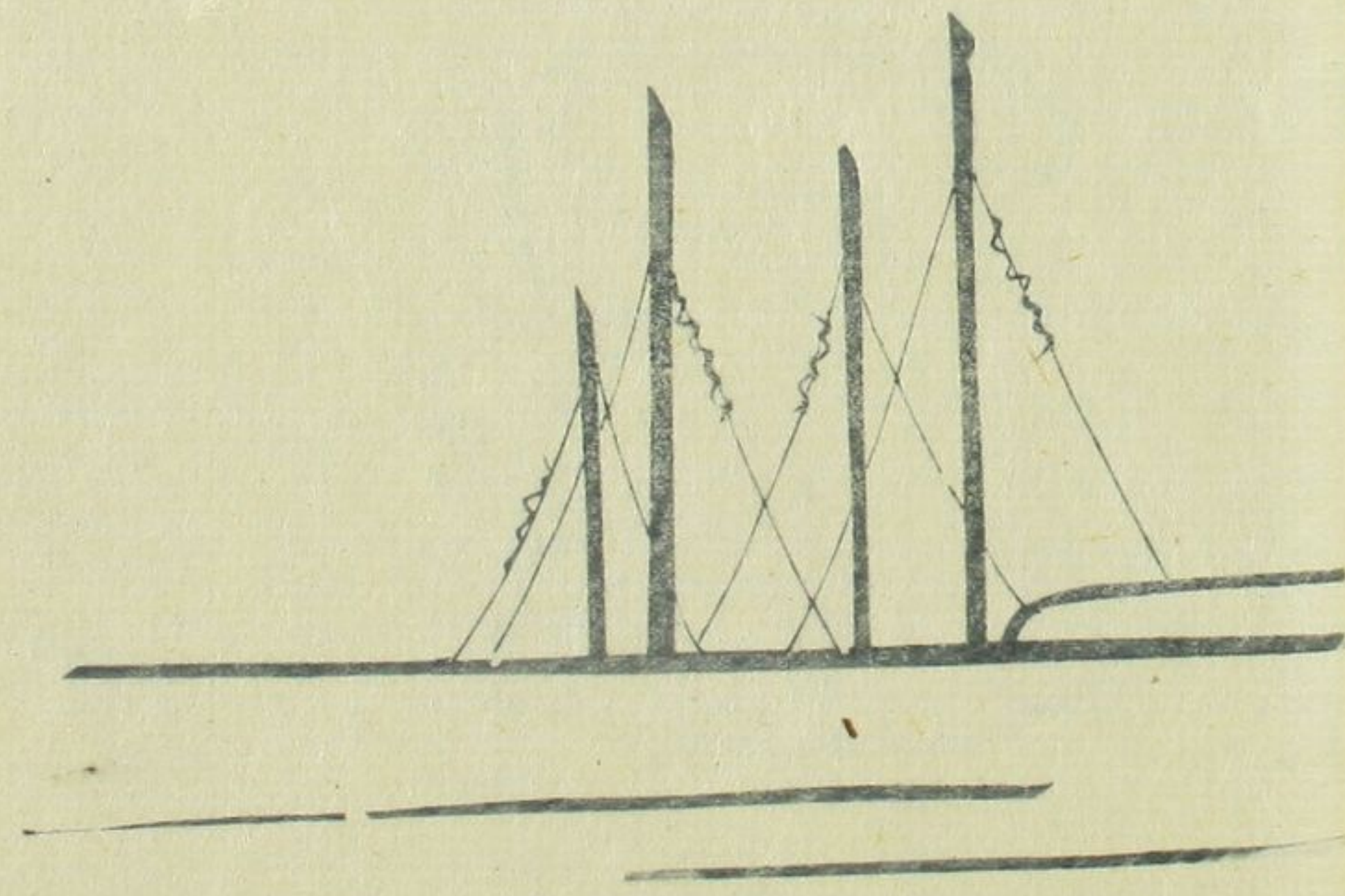
うきうき

小魚

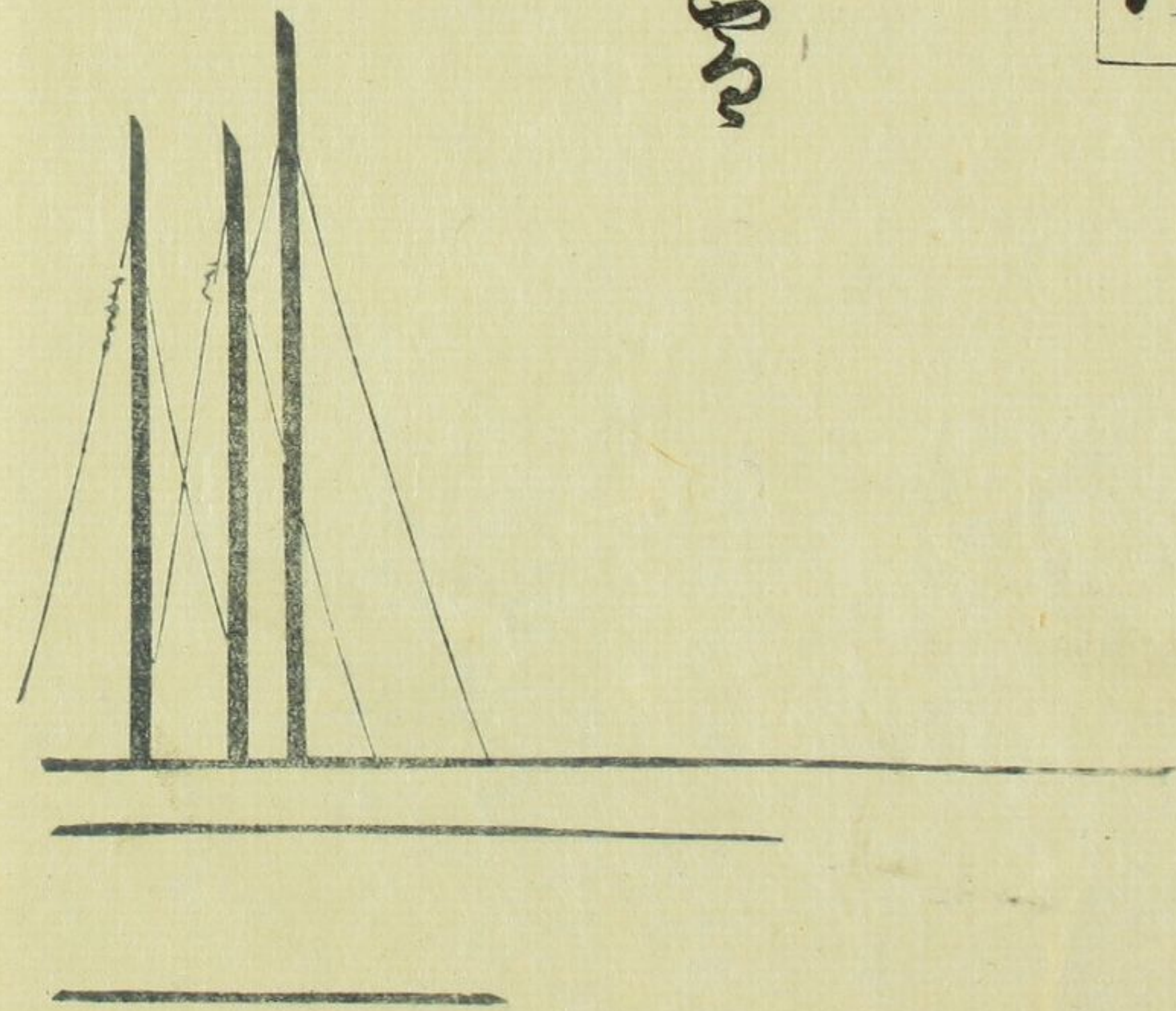


一
生
音
浦
音

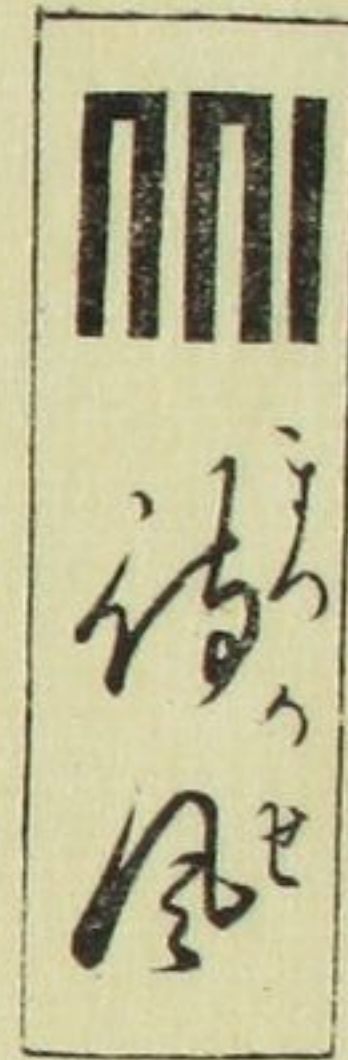
招
 乃
 乃
 招
 乃
 乃

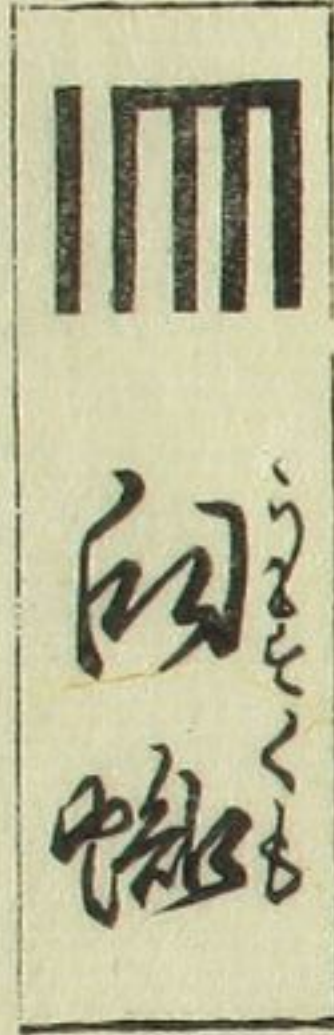


乃
 乃
 乃



文
 乃
 乃





中ノ二十

中ノ二十

中ノ二十

中ノ二十

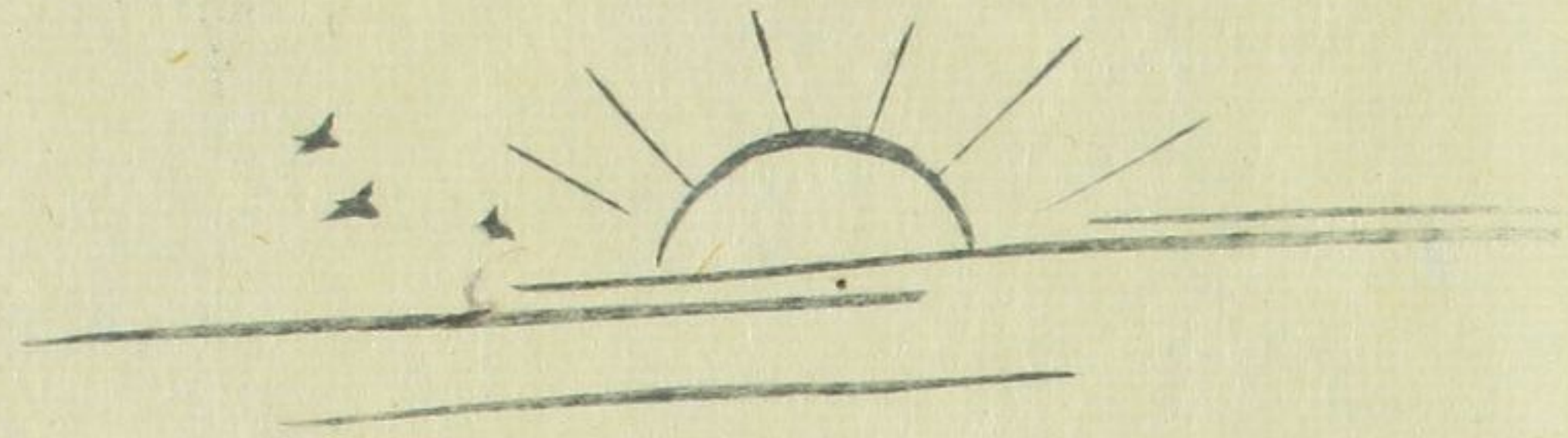
中ノ二十

中ノ二十



中ノ二十

中ノ十九



中三十一

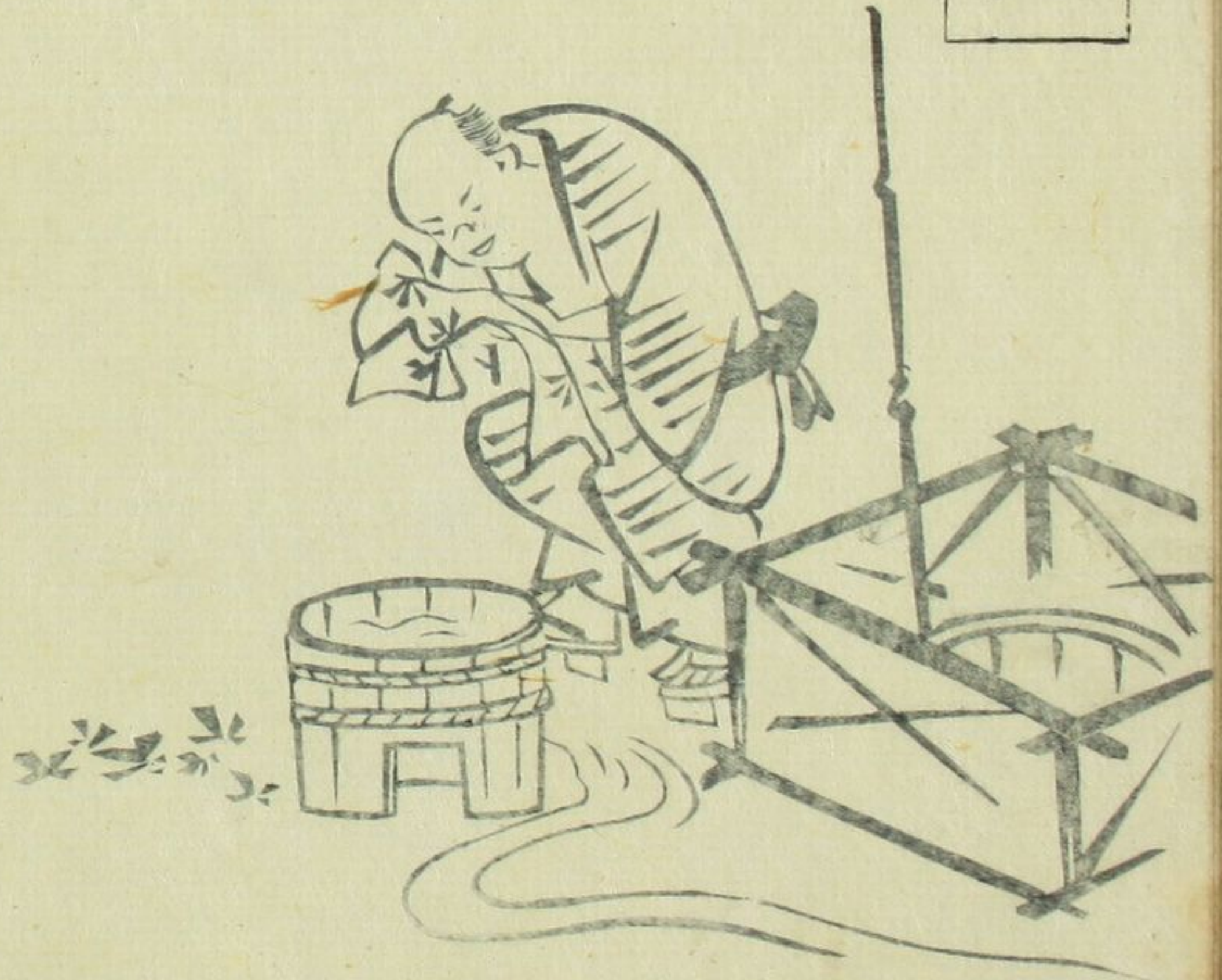
梅目女
中三十一

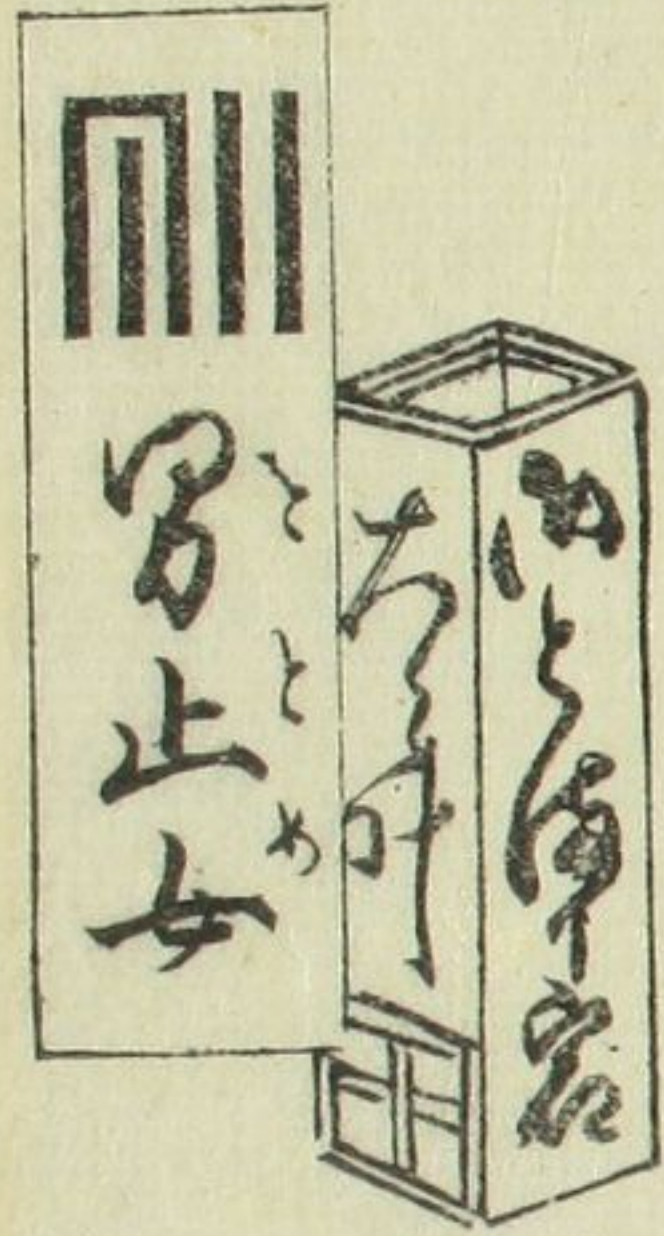
記
一
三

己
日
巳

あ
ま
り
な
し

三
あ
ま
り
な
し






ね
 と
 ね

か
 ん
 ね
 ね
 ね

石
 橋
 ね
 ね

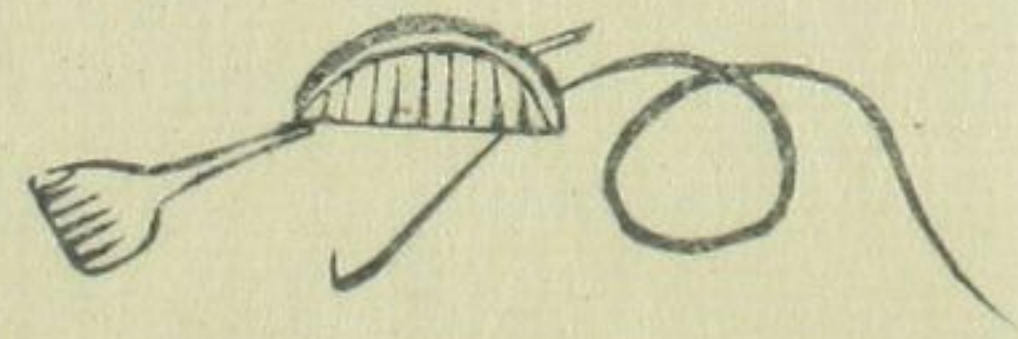

 玉
 髪

中、二十三

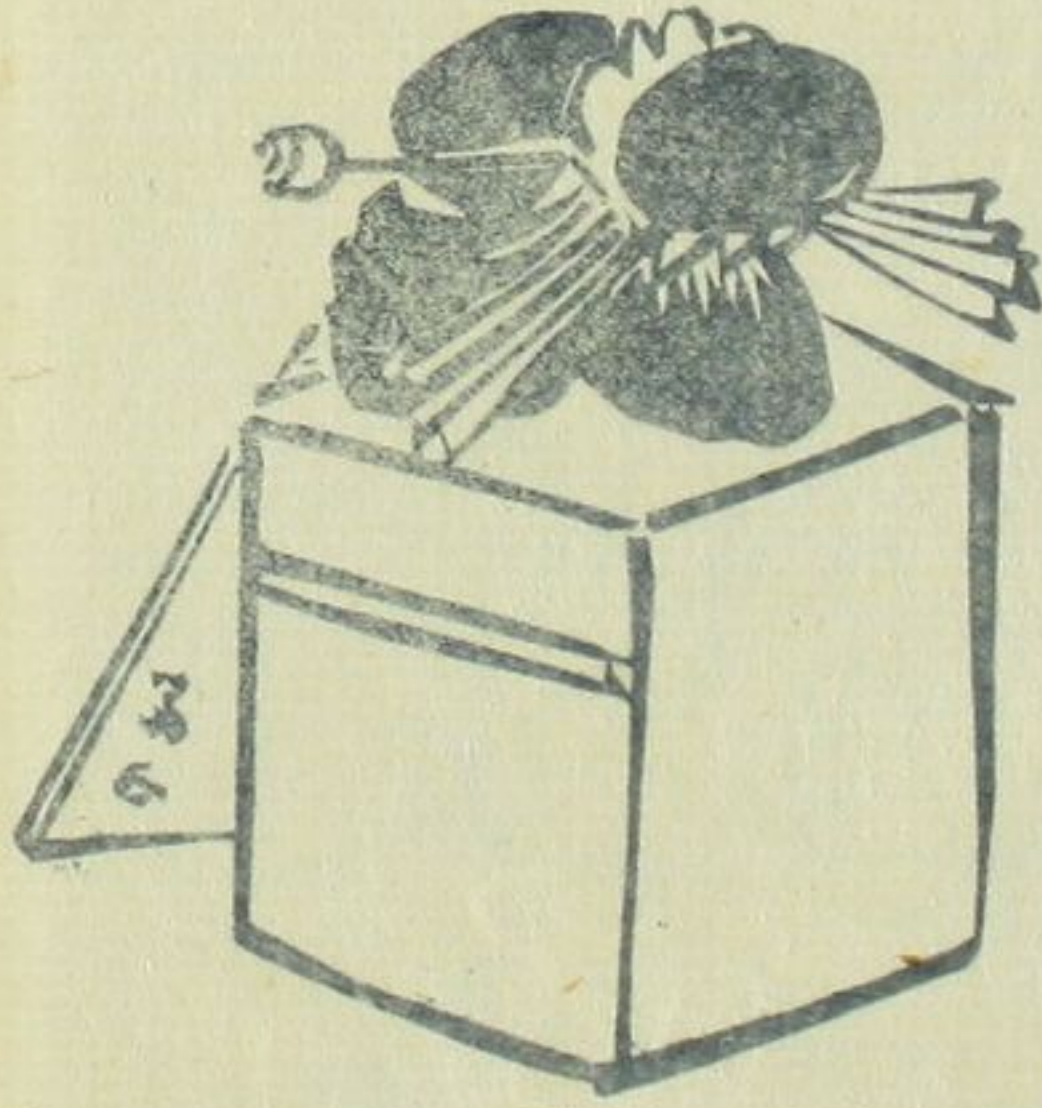
子
 子
 子

ね
 乃
 乃

子



冠



子

子

子

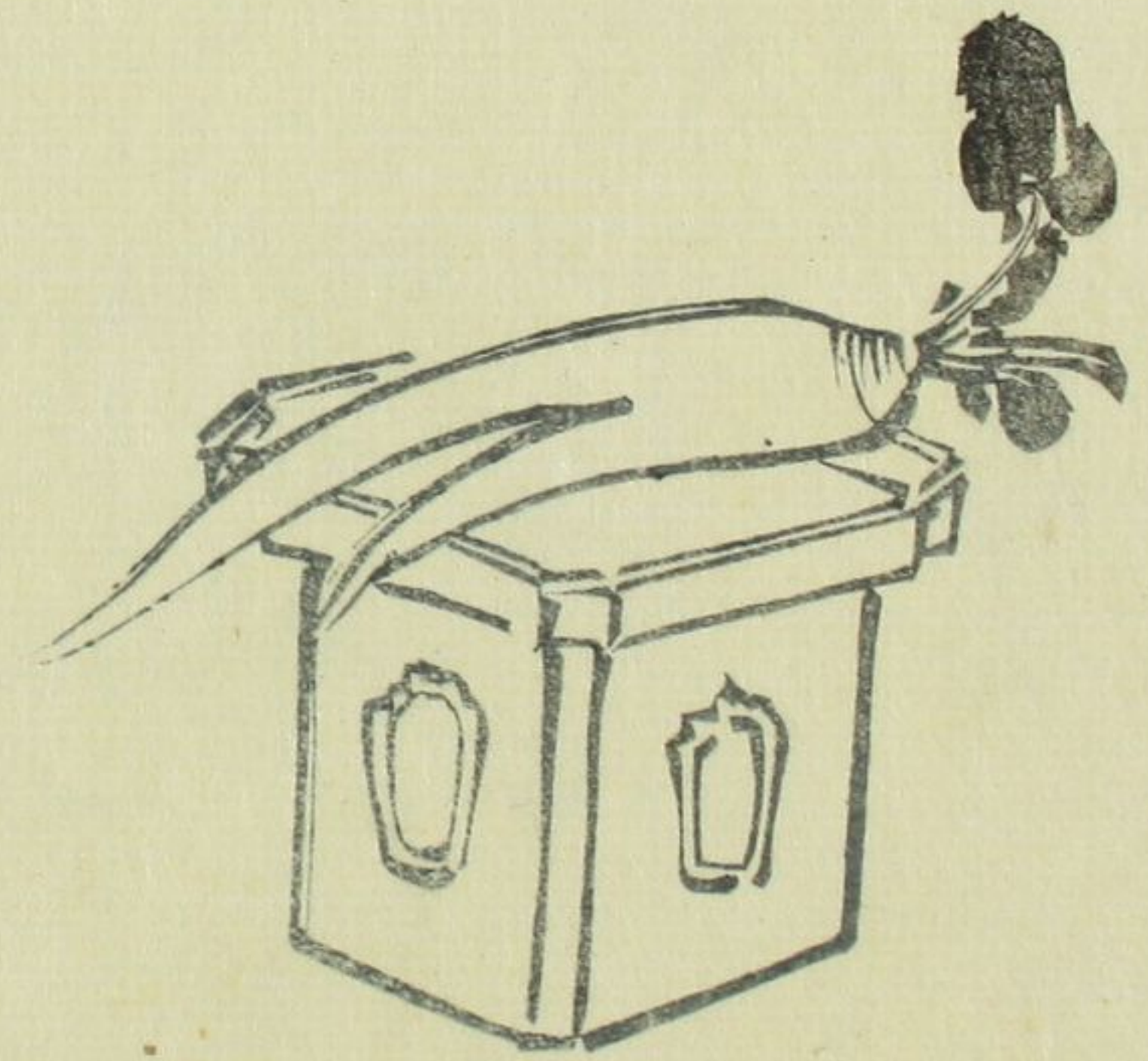
子

中、二十三

剛
こ初
ね子

受之
 受之

受之
 受之



受之
 受之

受之
 受之

受之
 受之



廬
子
繁

るるるる

るる

るるる



るるるる

仙媛

の

舞

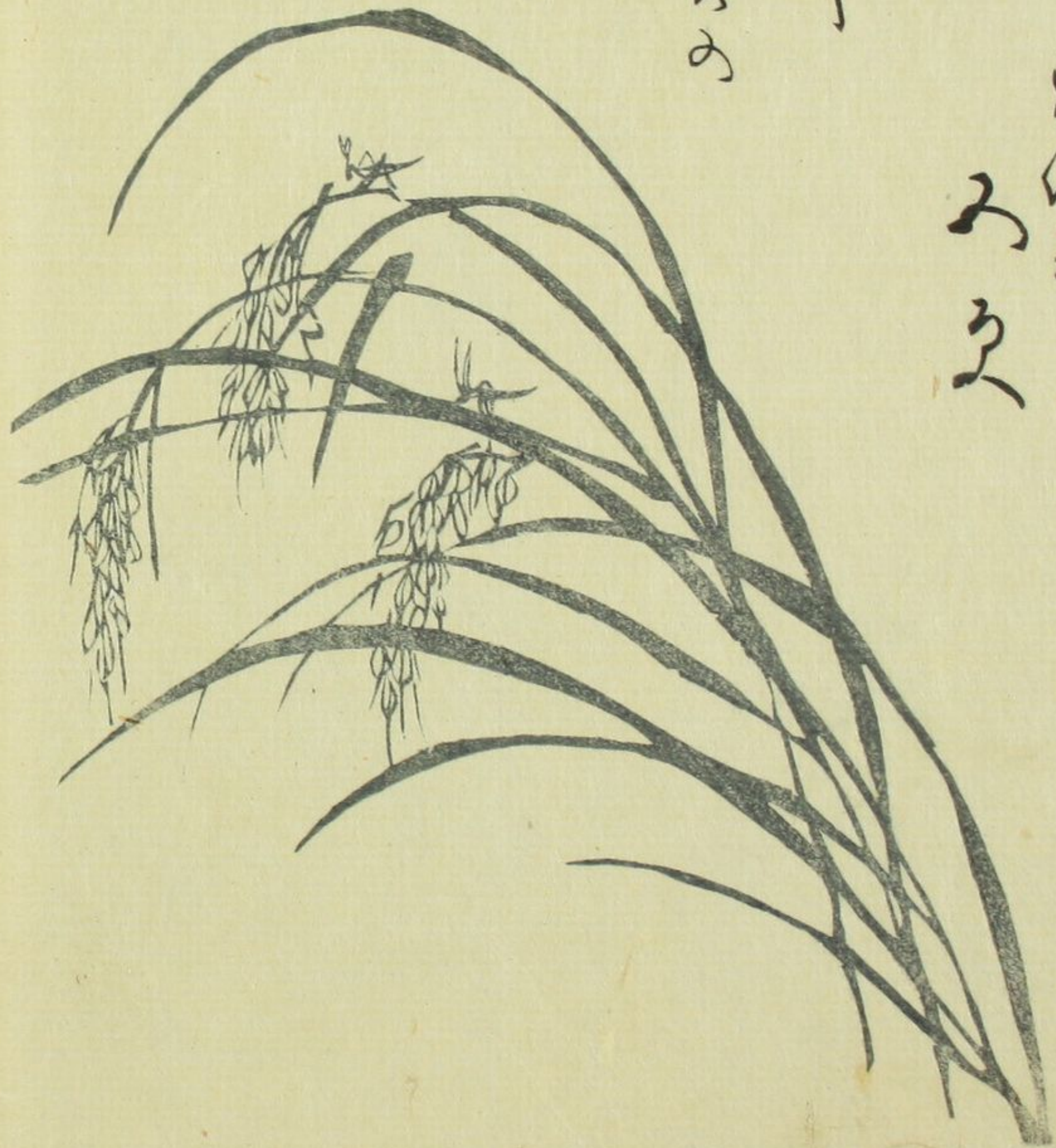


徳
徳

中ノ二十六

全
五
十

る
遠
の
花
の
香
気



い
は
な
の
香

い
は
な
の
香

い
は
な
の
香

い
は
な
の
香

三三
とこあつ
なま



福香

か

し



年

全

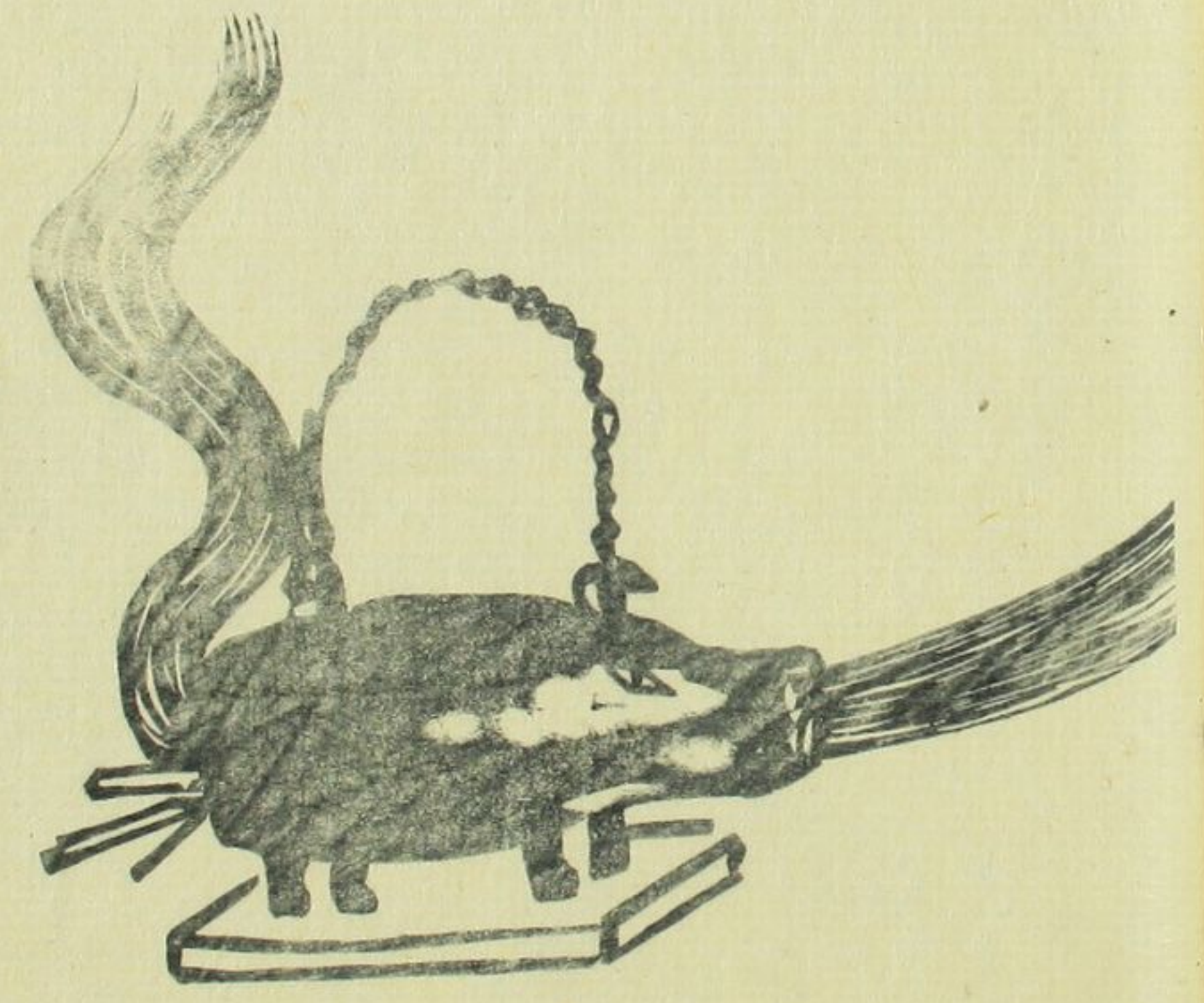
あ

ぬきま

あし

あし

あし



中二十八

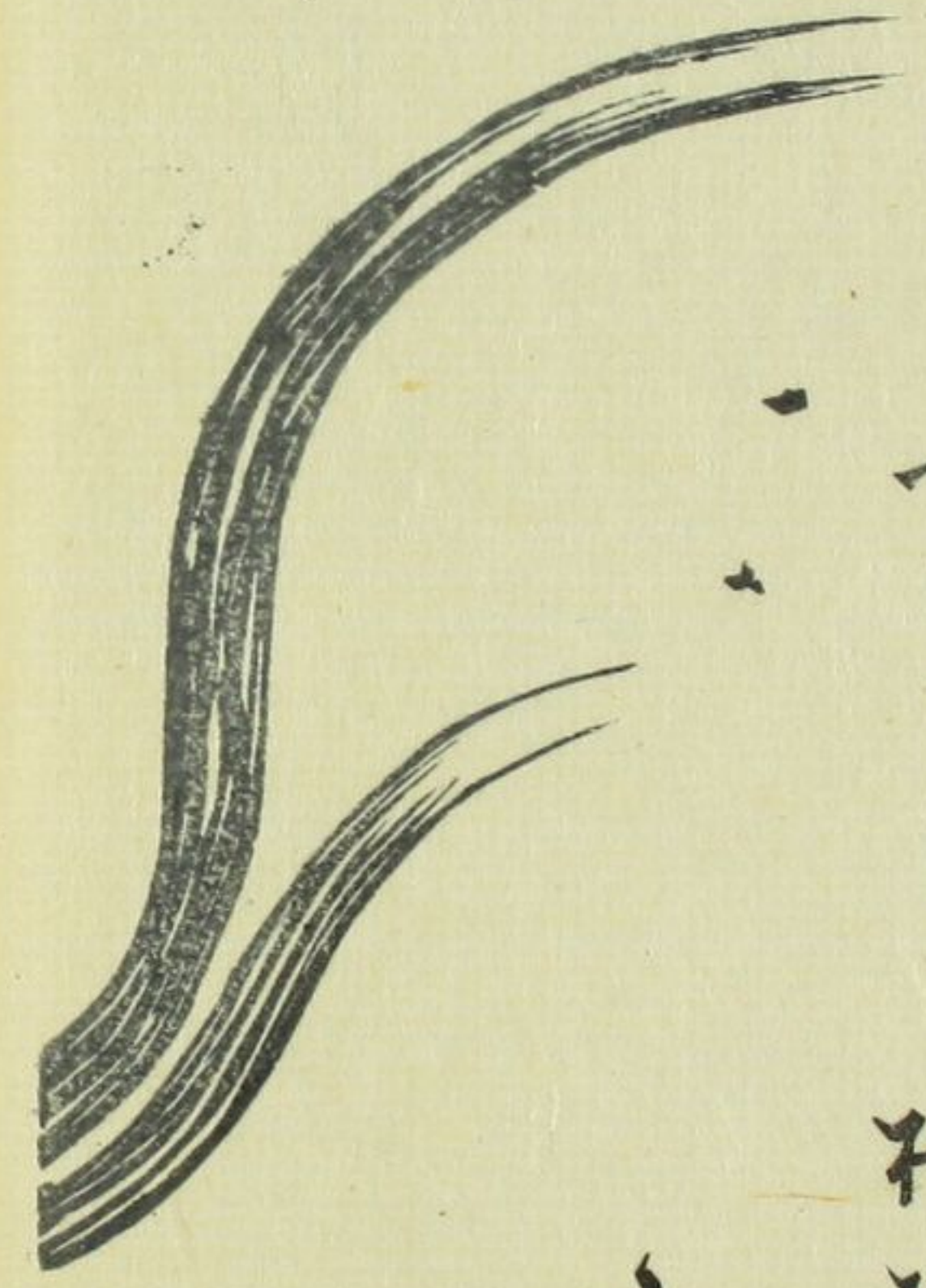
同
校
考
考

あし

あし

あし

あし




 婦泥名徳

全ち家

巴道庵

ねがはる

いなるの目

いかにあはれ

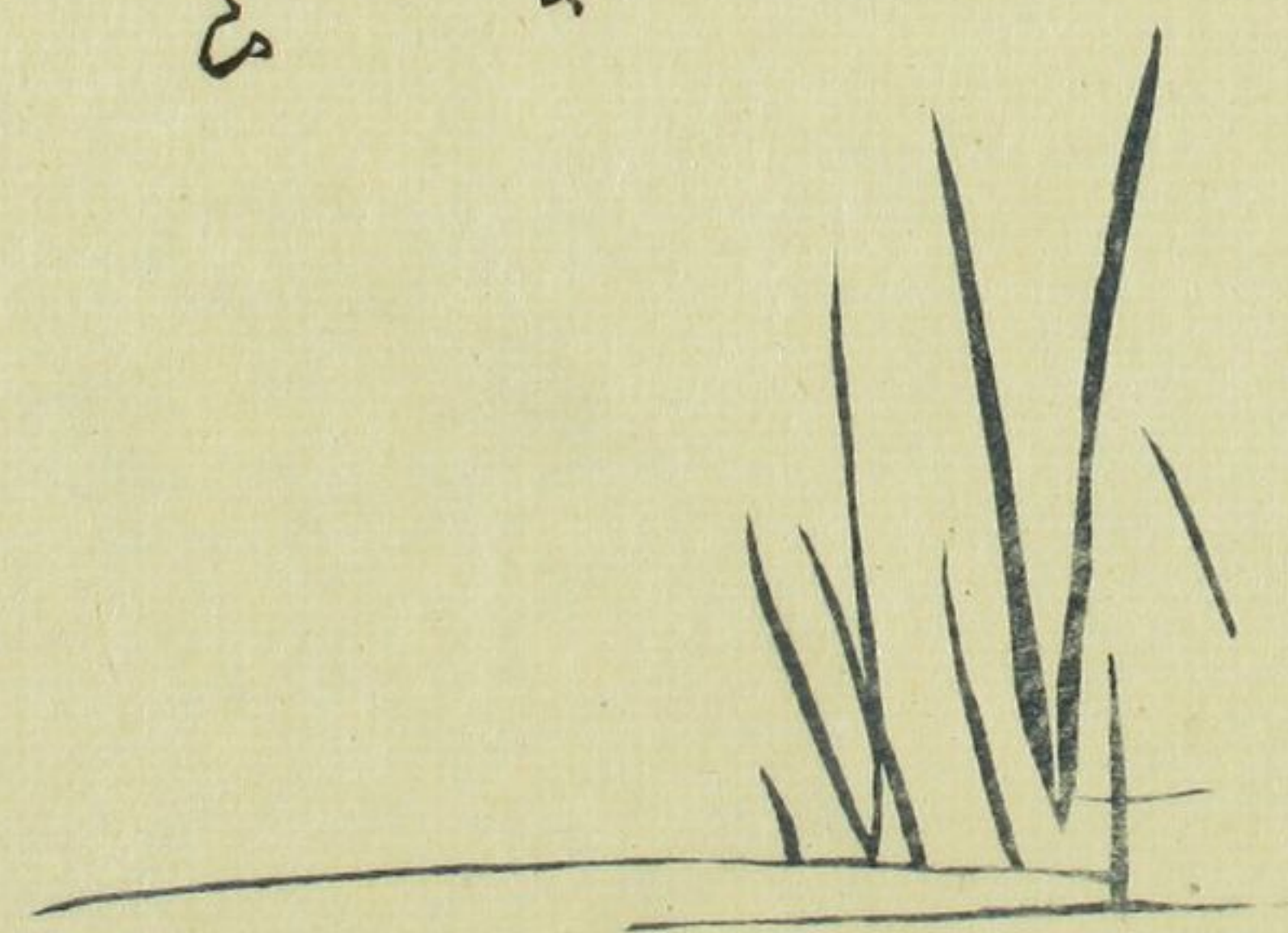
かゝる



ふさふさの草
 ながい草

草薙の
 草薙

いなるの
 草薙
 草薙





中ノ三十二

ほろの

目付梅の

ほろ

。。

ほろの

ほろの

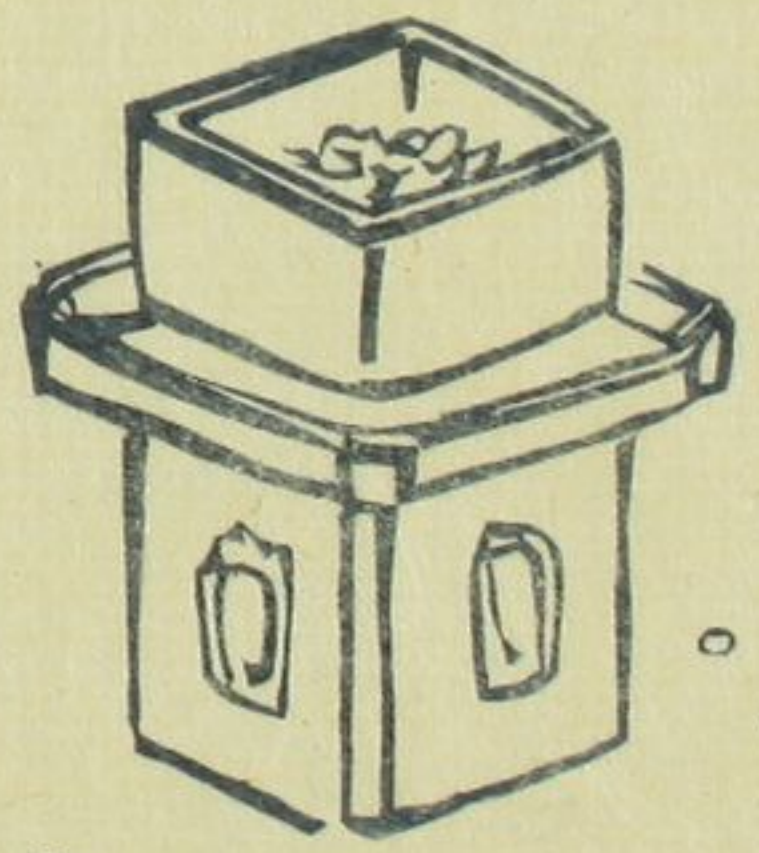
ほろの

ほろの


ほろの

ほろの

ほろの



。。


 柯雅画

心

刷毛

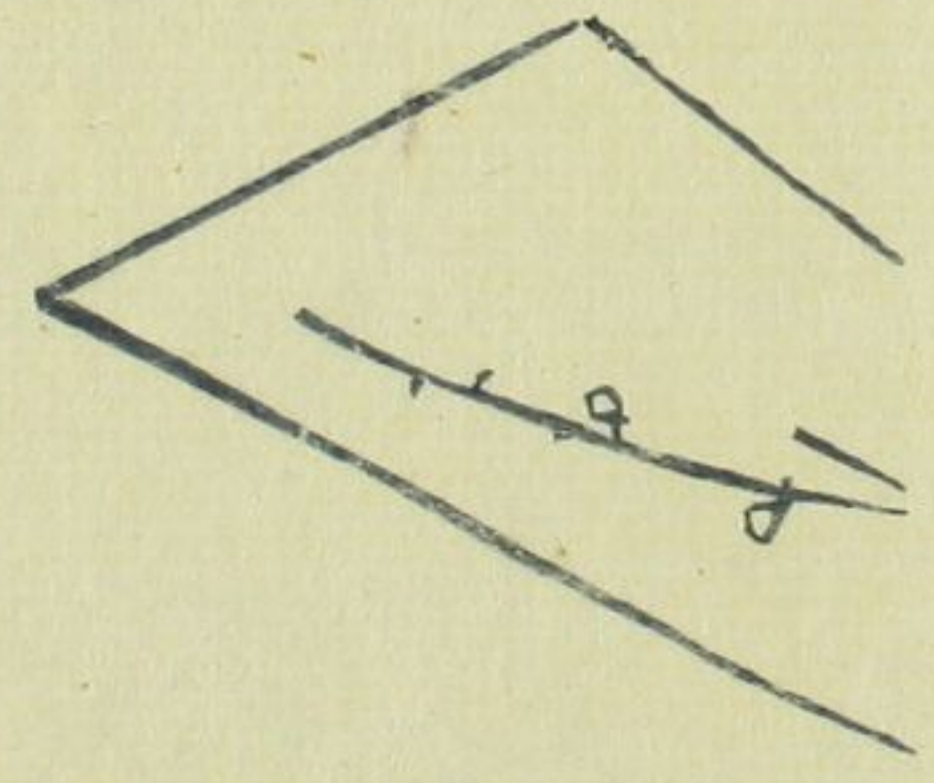


物

物

物

物



之

物

物

ふし
不防通波

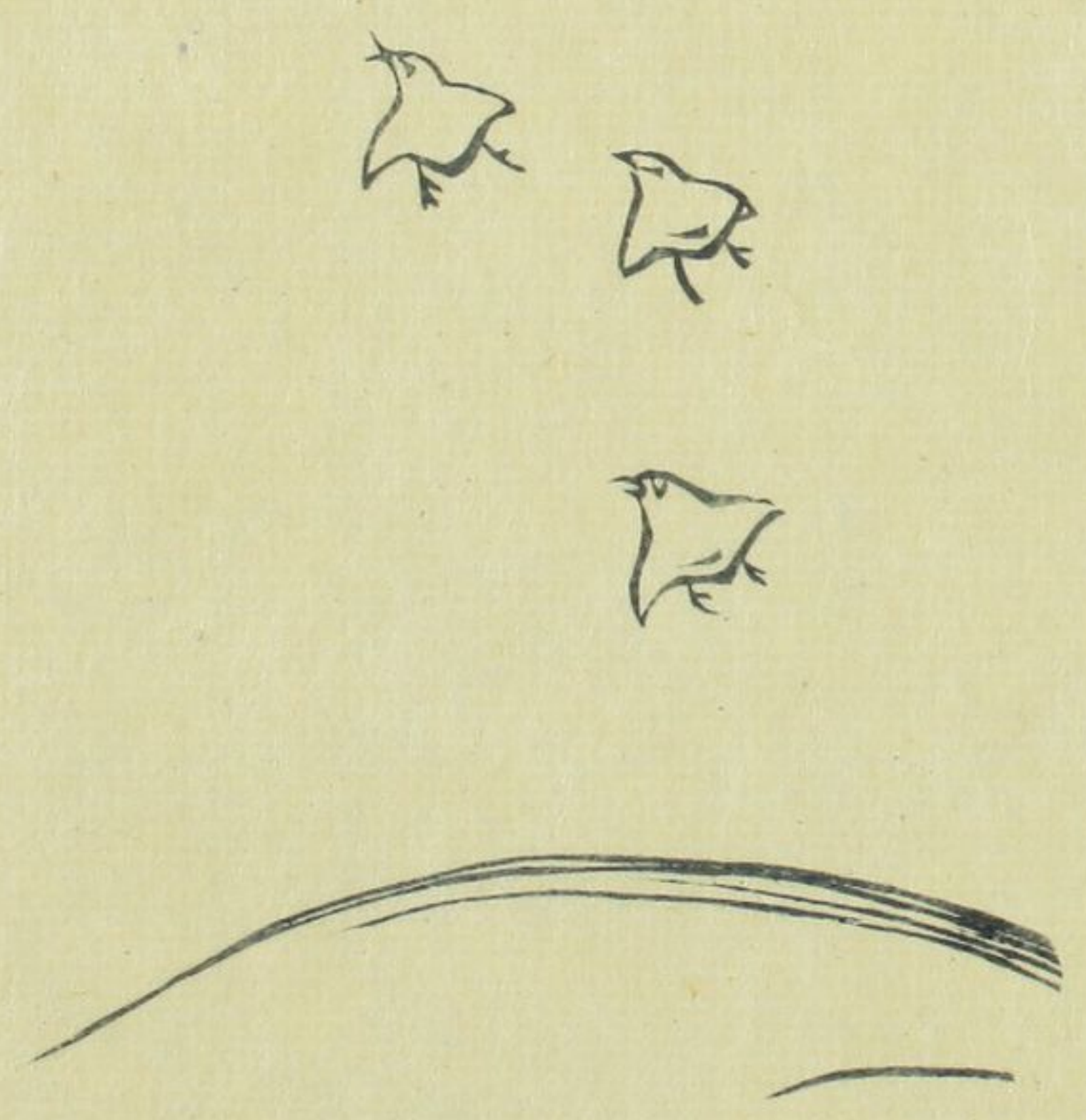
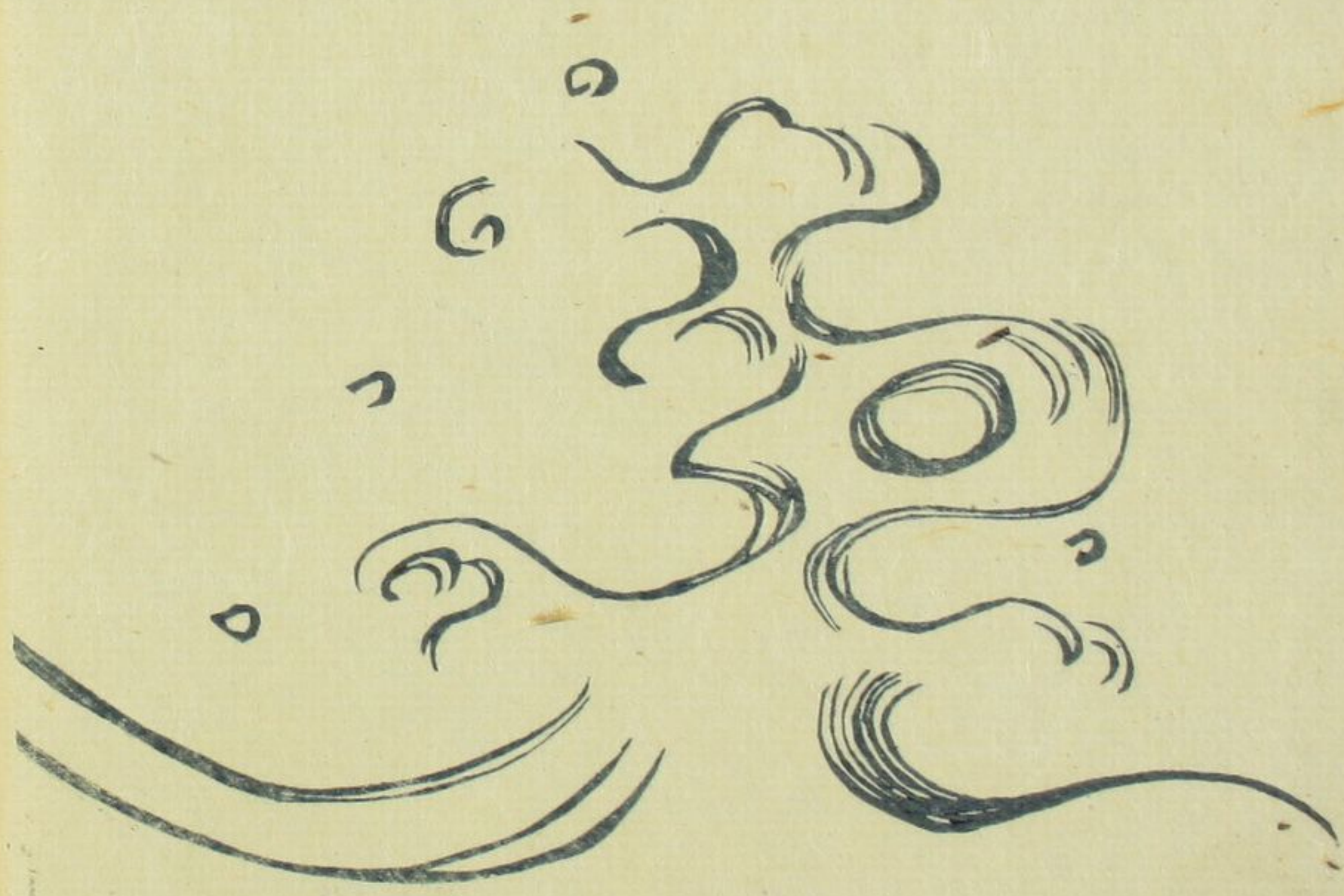
全

子延久

あき

籠


格



子

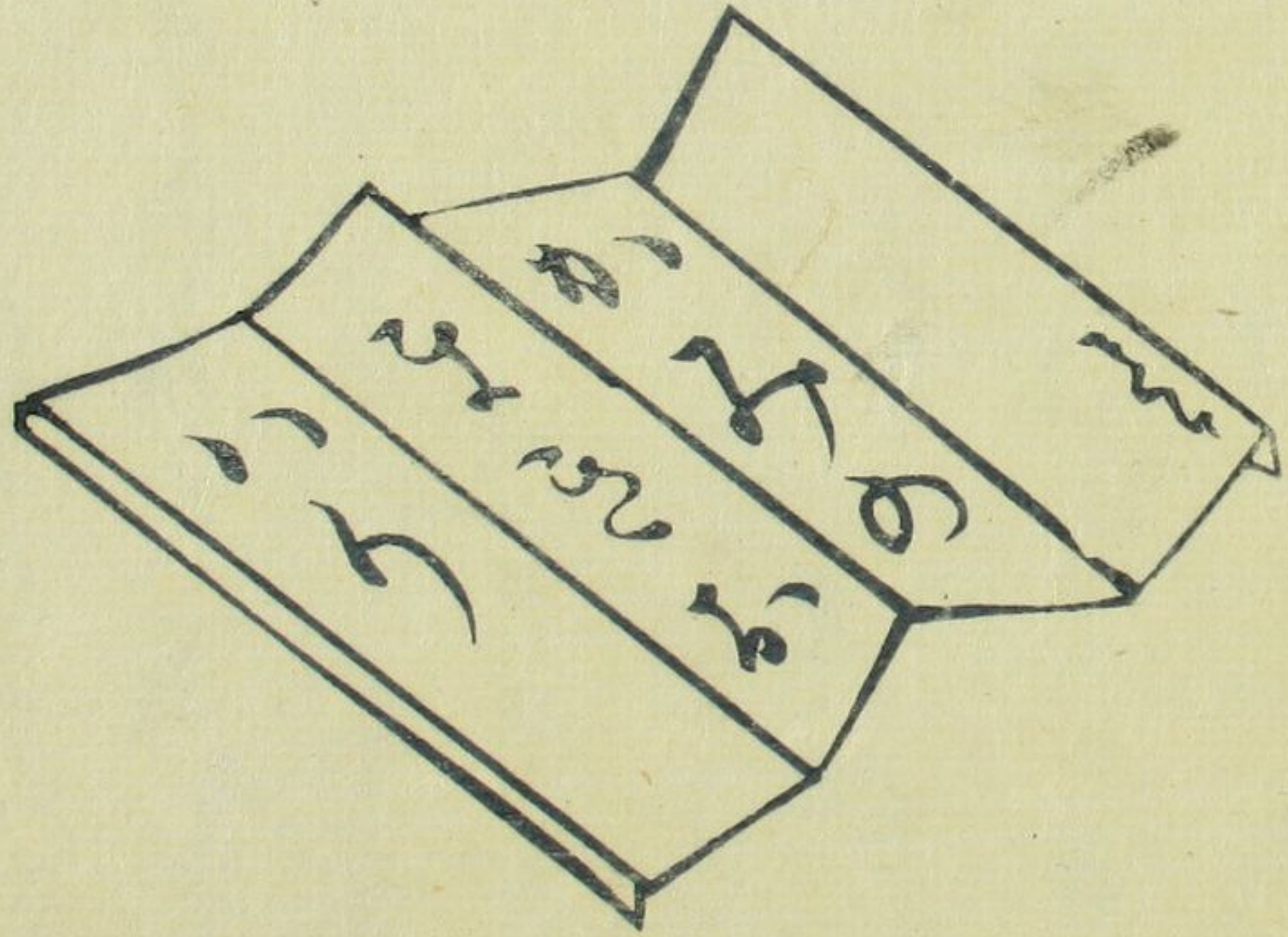
あき

籠


 和紙の
 紙の
 紙

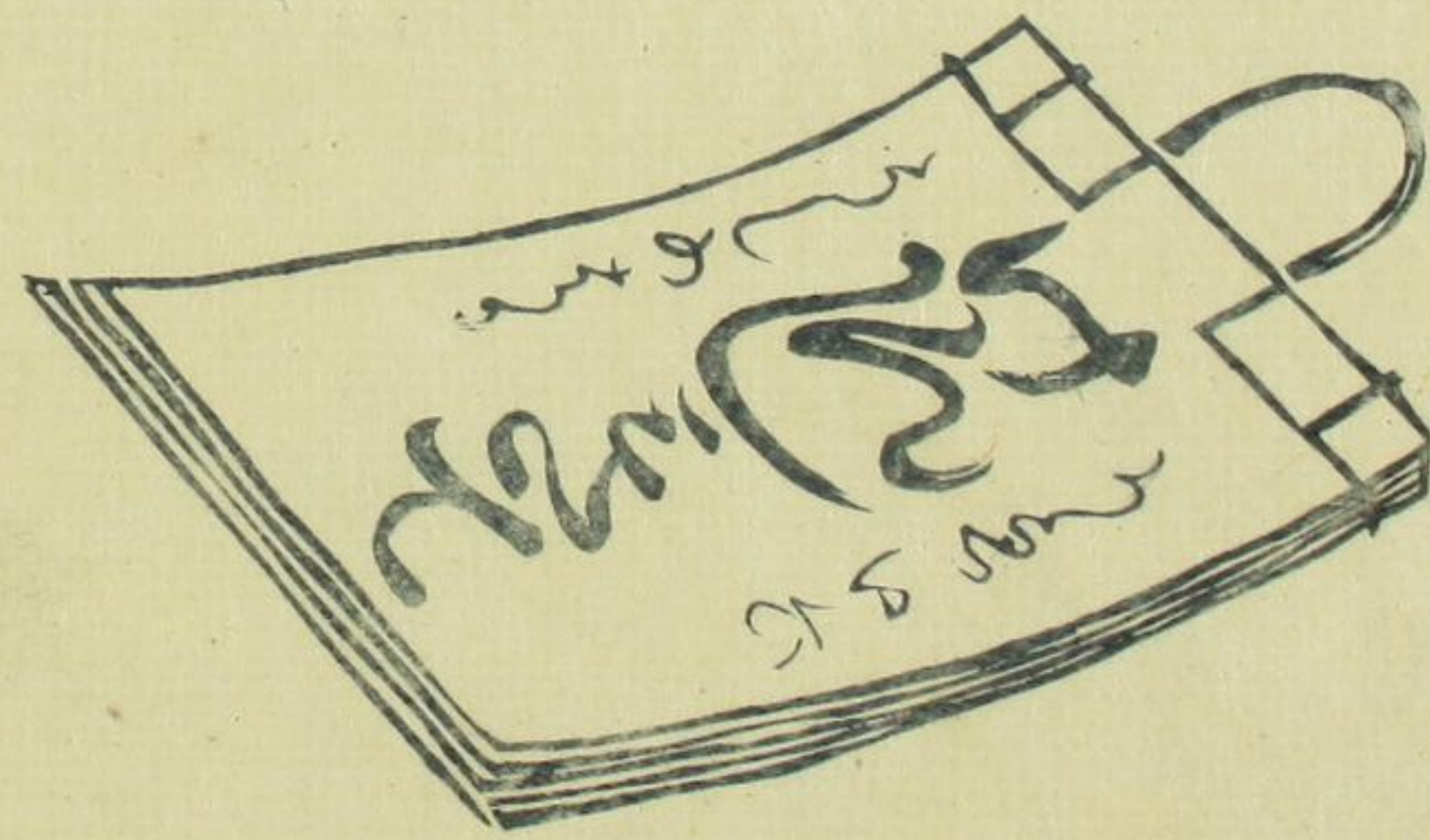
丸
 函
 紙
 紙

ち
 紙



中、三十五

紙
 紙
 紙
 紙
 紙



中、三十四

東郷
如石

中居登盛
平逆居目昇

心
名

新
なり

也盛

強く... 懐
目昇
昇

川... 昇
昇
昇
昇
昇
昇
昇
昇
昇

島道ひよ、路もそら等

舟のりも、佛も小善んやら

備後の鼻入、こたうら指

振舞のこた、いつも能たま

陣の強よ、高し、解、解

いこほ、ふれ、も、極、よ、あ、ら、れ

高、路、よ、針、の、終、ま、し、号

新、作、の、他、人、の、中、の、業、と、て

登

登

登

登

登

全

登

登

い、ま、よ、別、道、を、て、ゆ、め、よ、ま、の、母

の、ま、ら、の、ら、を、え、よ、清、く、終、り

白、金、の、の、ち、と、一、夜、あ、ら、ぬ

う、か、き、と、ら、ま、の、涼、名、と、よ、こ、わ、ら、ぬ

か、き、の、仕、り、を、い、い、い、い、と、ん

あ、ら、ぬ、尾、の、ち、よ、く、れ、の、鐘、の、ま

あ、ら、ぬ、ま、ま、と、ま、ま、と、ま、ま、と、ま

挿、入、の、歌、の、思、案、と、初、ま、か、い

登

登

登

登

登

登

登

登

さよふてはさよふて梓よらしく

月もさよふてさよふてその夜中を

垣越ゆるゆるいぢいぢい

下弦の月かよひのさよふて

あつてなめる後みぢいぢい

よまよへ個ほつれかおまへ

大さき入ぬめはつ

いさよふてさよふてさよふて

昇

全

登

昇

登

全

昇

登

景色静く舟竹のえり

昇

さよふてさよふてさよふて

目昇

ぬのさよふてさよふて

登盛

さよふてさよふてさよふて

登盛

さよふてさよふてさよふて

目昇

武江
神田

田邊虎月筆

福

美

目録

美

美

之新の字よ
全

あ

果

あ

田邊
虎月

あ

東武
飯田街

乞雲新快笑房

早祝

古き〜の星吸

快笑房

清〜と初日〜

喜喜

こっお

快笑房

〜の〜の〜の〜の〜

〜の〜の〜の〜の〜

〜の〜

〜の〜の〜の〜の〜

〜の〜

〜の〜

〜の〜の〜の〜の〜

乞雲
〜の〜

〜の〜の〜の〜の〜

九 ^十 〇

入粒音如幻

二 〇

手小指の

しんじゆ

しんじゆ

しんじゆ

しんじゆ 〇

しんじゆ

しんじゆ

しんじゆ

しんじゆ

しんじゆ

上 経

長 法

長白庵一石丸

平 法

平 法 一石丸

一石丸

平 法 一石丸

平 法 一石丸

行 法

平 法 一石丸

一 石

平 法 一石丸

一 石

平 法 一石丸

一 石

平 法 一石丸

一 石

○

平 法 一石丸

一 石

平 法 一石丸

平 法 一石丸

平 法 一石丸

平 法 一石丸

平海
蘇川

一 烟毒庵秋浦

子
子

引
子

子
子

子
子

子
子

子
子

子
子

子
子

子
子

栗部
ふん

文遊庵急な女

ふん喜

ふん

舞下ふんふん

こん

栗部

舞下舞の下の全

こん

ふん

ふん

大さやふんふん

舞下急を代務下候也

ふん

舞下急の事

ふん

依酒

相川

一 路 店 白 兎 方 山 茶

之 三

神 傳 信

相 傳 春 又 云

相 竹 の 傳 々 月 の 名 勝 じ ち ち

さ い 久 の 傳 信 ち ち 相 伝 春 又 云

ち ち 相 傳 信 春 又 云

ち ち 相 傳 信 春 又 云

ち ち 相 傳 信 春 又 云

ち ち 相 傳 信 春 又 云

佐
相川

佐
相川

之
書

佐
相川

佐
相川

佐
相川

佐
相川

五
七

五
七

五
七

五
七

五
七

五
七

○

五
七

五
七

大野

保返店 守静房 正明房

とて端

此の茶の能信の銀管の茶の
のし信信平信の平者と云らん
そらよる画の信信あつて幸の端の
申すては平信の平信の
の平信の平信の平信の

向ててててててててててて
端の減とててててててて

守静房

ちちちちの端の端の端の端

かかかかかかかかかか

正明房

とて端

この茶の能信の銀管の茶の
のし信信平信の平者と云らん
そらよる画の信信あつて幸の端の

香の如くして来と云ふ一語の如くして
来後と化して来と申す一語の如くして
如く如く来と云ふ一語の如くして
如く如く来と云ふ一語の如くして
如く如く来と云ふ一語の如くして

~~~~~

守静坊

西の空に月一丸の如くして  
如く如く来と云ふ一語の如くして

晚 嵐

官警のころめて福城の旅路に  
かゝつたの月見の如くして  
左の如く来と云ふ一語の如くして  
如く如く来と云ふ一語の如くして  
如く如く来と云ふ一語の如くして

~~~~~

守静坊

世の如く来と云ふ一語の如くして
如く如く来と云ふ一語の如くして

五郎
下五

松田彦吉

五郎

子
子
子

子
子
子

五郎

五郎

子
子
子

五郎

子
子
子

子
子
子

上 長
長志

九遊庵一巻

こ 巻

蓮葉や 巻の

一 巻

尾より 巻の 巻

一 巻

るの尾と 巻の 巻の 巻の 巻の

一 巻

巻解と 巻の 巻の 巻の 巻の

一 巻

あつた 巻の 巻の 巻の 巻の

一 巻

人さへ 巻の 巻の 巻の 巻の

行 巻

縁え 巻の 巻の 巻の 巻の

一 巻

祖と 巻の 巻の 巻の 巻の

一 巻

ねねと 巻の 巻の 巻の 巻の

一 巻

巻れ 巻の 巻の 巻の 巻の

一 長

乳母と 巻の 巻の 巻の 巻の

一 巻

初ウ

湯殿鳴りねまある

一 砂

竹篋の中へ借書のはしり

一 柳 孫

ひも麻てき入梅のハ

一 正

十部ハ又部の親をぬく

一 地

りりて居るおまのねえ

梅 雪

下 略

おまのねえ

九 返
一 人

おまのねえ

短ふまのこゝろや和馬

目 籍

和やや灯り燈せし

全

除わの篋皆拾篋とあ

全

おらと妻のしりや

善 樹

おらと妻のしりや

煙 水

おらと妻のしりや

一 棟

おらと妻のしりや

後 女

古娘や枯葉家ぬく

一 下

山本 三郎

幸 坂 也

人 小 子 三 郎

三 郎 也

幻 遊 記

